

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査

学力調査について

※網掛けは、県平均以上を意味する。

- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- × ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- * ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

○平均正答率

国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	63.8	58.1	65.6	59.3	56.5	56.9
埼玉県	62.1	56.2	63.8	58.8	57.1	56.3
県との差	1.7	1.9	1.8	0.5	△0.6	0.6

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	63.7	64.9	61.2	57.4	51.2	56.0
埼玉県	63.0	63.0	59.8	57.7	52.7	57.1
県との差	0.7	1.9	1.4	△0.3	△1.5	△1.1

英語	中2	中3
久喜市	58.1	54.1
埼玉県	59.0	55.9
県との差	△0.9	△1.8

○学力の伸び

国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	-	0	2	1	1	1
埼玉県	-	0	3	2	1	2

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	-	2	2	1	2	1
埼玉県	-	1	1	1	2	2

英語	中2	中3
久喜市	-	2
埼玉県	-	3

○記述式問題正答率

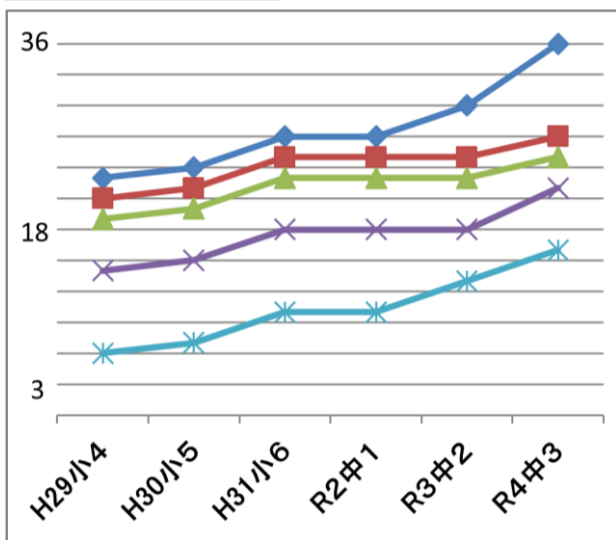
国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	19.2	34.7	50.9	51.2	61.6	52.9
埼玉県	17.0	24.8	37.5	44.5	59.3	53.2
県との差	2.3	9.9	13.4	6.7	2.3	△0.3

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	41.8	39.7	35.1	49.2	35.8	49.0
埼玉県	41.9	35.8	29.8	44.8	35.1	49.6
県との差	△0.1	3.9	5.3	4.4	0.7	△0.6

英語	中2	中3
久喜市	54.0	25.9
埼玉県	57.1	26.0
県との差	△3.1	△0.1

学力の伸びの状況

久喜市



質問紙調査について

○学習方略

柔軟的方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.51	3.53	3.45	3.64	3.52	3.60
埼玉県	3.50	3.44	3.41	3.55	3.48	3.54
県との差	0.01	0.09	0.04	0.09	0.04	0.06

プランニング方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.60	3.51	3.54	3.69	3.53	3.55
埼玉県	3.55	3.50	3.50	3.64	3.49	3.51
県との差	0.05	0.01	0.04	0.05	0.04	0.04

作業方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.40	3.39	3.33	3.69	3.55	3.69
埼玉県	3.43	3.33	3.35	3.63	3.53	3.63
県との差	△0.03	0.06	△0.02	0.06	0.02	0.06

人的リソース方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	-	2.99	2.96	3.10	3.05	3.02
埼玉県	-	2.90	2.92	2.99	2.94	2.98
県との差	-	0.09	0.04	0.11	0.11	0.04

認知的方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.83	3.87	3.78	3.88	3.73	3.84
埼玉県	3.83	3.78	3.80	3.80	3.68	3.76
県との差	-	0.09	△0.02	0.08	0.05	0.08

努力調整方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.98	4.01	3.96	4.00	3.72	3.75
埼玉県	3.96	3.97	3.96	3.97	3.73	3.75
県との差	0.02	0.04	0.00	0.03	△0.01	-

◆成果と課題 (○: 成果 ●: 課題)

○小学校では全ての学年において、実施したすべての教科で埼玉県平均正答率をほぼ上回った。

○令和3年度から令和4年度までの学力の伸びを見ると、令和3年度からの一年間で全ての階層で学力が伸びている。特に、上位層と下位層で大きく学力が伸びている様子が分かる。

○問題形式別では、国語と算数において多くの学年で記述式問題の正答率が県平均を上回った。特に、国語における小学校高学年の記述式問題の正答率は、小5が9.9ポイント、小6が13.4ポイントと県平均を大きく上回った。

→全体的には、久喜市の児童生徒の学力は伸びているといえる。家庭、地域と連携した各学校の取組が成果を挙げているものと捉えている。今後は、「久喜市版未来の教室」の実現に向け、一人一台端末を効果的に活用した「個別最適な学び」をさらに推進し、より一人一人にあった学びを提供することで学力向上を目指す。

●国語では、小4・小5・中2の「情報の扱い方、我が国の言語文化」と中1・中2の「読むこと」、算数・数学では小4・中1の「図形」と中1「データの活用」中2は全領域、中3では「データの活用以外の領域」英語では、中2の「読むこと」「書くこと」と中3は全領域に関する正答率が県平均よりもやや低かった。

→正答率の低かった項目については、市独自の学力テスト（久喜市ステップアップテスト）で出題するとともに、一人一人の正答状況に合わせた補習問題を提供することで改善を図る。

○非認知能力 (参考値)

	小4		小5		小6		中1		中2		中3	
	自己効力感	向社会的性	自己効力感	向社会的性	自己効力感	向社会的性	自己効力感	向社会的性	自己効力感	向社会的性	自己効力感	やりぬく力
久喜市	3.48	2.96	3.43	2.96	3.38	3.84	3.18	3.77	2.97	3.15	3.02	3.03
埼玉県	3.49	3.07	3.35	3.07	3.34	3.78	3.15	3.81	2.91	3.23	2.99	3.03
県との差	△0.01	△0.11	0.08	△0.11	0.04	0.06	0.03	△0.04	0.06	△0.08	0.03	0.00

◆学習方略とは？

学習の効果を高めるために児童生徒が意図的に行う活動

○柔軟的方略・・・学習の仕方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動
質問例) 勉強で分からないところがあったら、やり方をいろいろ変えてみる。

○プランニング方略・・・計画的に学習に取り組む活動

質問例) 勉強するときは、最初に計画を立ててから始める。

○作業方略・・・ノートに書く、声に出すといった、「作業」を中心に学習を進める活動

質問例) 勉強で大切なところは繰り返し書いたりして覚える。

○人的リソース方略・・・友人を利用して学習を進める活動

質問例) 分からないところがあったら友達に勉強のやり方を聞く。

○認知的方略・・・より自分の理解度を深めるような学習活動

質問例) 新しいことを勉強するとき、今まで勉強したことと関係があるかどうか考えながら聞く。

○努力調整方略・・・「苦手」をコントロールして学習への動機を高める活動

質問例) 問題が退屈つまらないときでも、それが終わるまでやり続けられるよう努力する。

◆非認知能力とは？

意欲や姿勢などのように数値化されない能力

例) 自己効力感・・・自分への自信、自己肯定力

勤勉性・・・やるべきことをきちんとやる やり抜く力・・・粘り強い、根気がある

向社会的性・・・相手の気持ちを理解、共有し(共感)、自分よりも相手を優先させようとする 心情や行動

質問紙調査から見えてくるもの

○全体的には、学習方略・非認知能力ともに肯定的に回答した児童生徒が多かった。

○学習方略においては「柔軟的方略」「プランニング方略」「人的リソース方略」において全ての学年が県平均の数値を上回っている。非認知能力においては、県平均と比べ「自己効力感」の項目が全体的に高く、小学校5年生と中学校2年生で特に高かった。

→一人一台端末を活用し、個別最適化された学び、協働的な学びの視点で授業改善を進めていること、またオンラインを活用した分教室を実施し、学びを止めないことが結果に現れていると捉える。今後は、より授業改善を進め、学力を高められるように努めていくとともに、学習方略、非認知能力を高めていく。